

や やるぞ～ ま まけないぞ～ が がんばろうぜ～ た 楽しい学校になるように

## この「旅立ちの日に」君たちに「贈る言葉」！

来月3月1日に卒業式、今日と卒業式も含めて3年生の登校日は6日となりました。

既に担任の先生からは聞いていると思いますが、この新型コロナウイルスの感染状況から、今年度の卒業式も、感染防止を最優先に考え、簡素化・短縮した形での実施とすることにしました。

具体的には、1・2年生の卒業式への参列、全校合唱や卒業合唱をなしとします。本当なら、在校生全員やたくさんの来賓の皆さんで3年生の門出を盛大にお祝いしたいのはやまやまですが、卒業生のほとんどは、その2日後に公立高校受験を控えています。このある意味人生を左右するかもしれない新たな道への重要な時期にあたり、まん延防止等重点措置が継続している中、また市内の多くの学校で学級閉鎖が続いている状況を考えると、今回の対応は仕方のない選択だと受け入れてほしいと思います。

思い返せば、3年生の皆さんは、1・2年生の時の上級生の卒業式も経験することがなく、今回もこのような形で自分たちの卒業式を迎えることは、たいへん残念なことだと思います。その分、あとわずかですが、在校生や先生方も、卒業式に向けての感謝の企画や準備を、真心を込めて進めていきます。

今回、私自身もたいへん残念なのは、3年生の卒業合唱を聞けないことです。これまでの卒業式でも、卒業生全員によるラストソングを聞くと、卒業生との思い出が蘇って、何度も涙を誘われました。今でも、その曲を聴くとその当時の学校や子どもたちの顔が浮かんでくることがあります。

昔の卒業式の定番と言えば、「蛍の光」と「仰げば尊し」のどちらかが100%でした。私が小中学校の頃もそうでした。どちらも明治半ば頃に入ってきた外国の曲で、音楽の教科書に掲載されて全国的に広がった曲です。どちらもいい歌ですよ。ただ、言葉が古めかしかったり、内容が教育的に不適切だとの指摘も出てきて、今では卒業式で聞くことはほとんどありません。

1980年代になると、音楽の合唱曲としても有名な「巣立ちの歌」や「大地讃頌」が卒業式で歌われることが多くなりました。この2つの曲もとてもいい曲です。でも、合唱曲は、「大地讃頌」など難しい曲も多いですし、ちょっと堅苦しいイメージがあるので、これらも次第に敬遠されるようになったような気がします。

そして、2000年代の定番に踊り出たのが「旅立ちの日に」です。この曲は、1991年に埼玉県の中学校の校長先生が作詞をし、音楽の先生が作曲をしました。当時荒れていた学校を立て直そうと、「歌声の響く学校」を目指して創られた曲でした。SMAP出演のCMソングに起用されたのをきっかけに全国でも広く歌われる卒業式の歌となったのです。

その後、自分たちが歌う卒業ソングは自分たちで選ぼうと、特に有名な歌謡曲やポピュラーソングが歌われるようになります。

『贈る言葉』『YELL』『桜』『3月9日』『ありがとう』……。思い出や思い入れは人それぞれで、人それぞれにそれぞれの卒業ソングがあるはずです。その全てが、皆さん一人一人の心の中では、かけがえのない名曲としてこれからもずっと生き続けるはずです。

それでは、最後に、多分全校生徒・先生方の誰もが一度は耳にし、あるいは歌ったことがあるであろう『旅立ちの日に』を流しながら、来る旅立ちの日に向け、私が好きな『贈る言葉』を紹介します。

#### <スライド・音楽 放映>

- ◇ 自分のために輝くなら  
    灯台は船を導くことはできない！
- ◇ 夢ある者は『希望』を語り  
    夢なき者は『不満』を叫ぶ！
- ◇ 低きにつくな 稜線を行け！
- ◇ 「さよなら」は別れの言葉じゃなくて  
    再び逢うまでの遠い約束